授業概要（シラバス）

■科目基本情報

専門学校日本ホテルスクール

科目番号	MS105	分類	講義科目
授業科目名	宿泊業務論	英文授業科目名	The Fundamentals of Accomodation Service
年度	2024年度	年次	夜間部　1年　　ホテル科
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	2単位	年間授業時間数	36.4時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	26コマ
担当教員名	横山 大輔　実務経験あり	備考	
経歴	2010年に本校を卒業。在学中は留学カリキュラムを利用しオーストラリアに留学。卒業後はシェラトン・グランデ・トーキョーベイに就職。1年後にザ・ペニンシュラ東京に転職。その後、2014年・12月に日本初上陸したアマンリゾーツが手掛けた初の都市型ホテル、アマン東京のオープンニングスタッフとして入社。その後、同じアマンブランドのアマネム、アマン京都のオープニングも経験。2021年10月にTHE HIRAMATSU 軽井沢 御代田のオープニングスタッフ 宿泊部マネージャーとして勤務。2023年4月にHOTEL K5の副総支配人に着任。 2024年4月からはフリーランスとして活動。これからオープンするホテルのコンサルティング（オペレーション構築も含む）、Task forceとして依頼があった現場でも短期契約を結び勤務している。（2024 4月～ブルガリ東京 House keeping）。		

■授業・科目情報

学習目標	ホテルの基本的な機能である宿泊部門の業務の中で、特に実習教育にも直接関わるフロントサービスとハウスキーピングについて、その業務内容と役割を理解する。ホテルビジネス実務検定試験ベーシックレベル2級の出題範囲内の項目についても、理解を深める。
教科書	宿泊業務の基礎　日英併記版、一般財団法人日本教育センター編、2022年2月28日

授業計画

回数	内容
1	自己紹介　自身の経歴等、勤務してきたホテルの紹介、評価方法について。
2	ホテル・旅館営業とは～大きくどのような形態で分かれているのか。実際にどんなホテルがあるのか。
3	ホスピタリティとは。身だしなみに関して。言葉遣い、姿勢等にも触れて。～最後に一度、みんなで歩いてみよう。
4	守秘義務の認識と理解・危機管理について。ウイルス性感染症について。
5	宿泊部門とは～どのような役割・仕事があるのか。
6	オペレーションサイクルとゲストサイクル～宿泊部門のオペレーションとは？
7	組織図に関して～ホテル全体の組織図、部門間の組織図に関して～　宿泊部門のマネージャーとは
8	ロビーサービスとは。～ドアマン・ベルマン・フロントデスクの役割
9	ドアマンとは～詳しく説明～動画含める
10	ベルマンとは～詳しく説明～動画含める
11	フロントデスクとは～役割、組織形態
12	フロントデスクとは～役割、組織形態
13	前期試験
14	夏休み振り返り～どこに旅行に行った、どこの宿泊施設を利用した、アルバイトの夏の出来事など。再度後期実務の説明
15	コンシェルジュに関して。1 歴史、役割
16	コンシェルジュに関して。2 歴史、役割　、動画
17	ハウスキーピングとは～役割、組織形態、業務内容
18	ベッドメイキング実技1
19	ベッドメイキング実技2
20	タオルアート実技
21	客室アメニティ～近年進行している環境保護に関して
22	客室の設備、家具、備品に関して。
23	ランドリーサービスに関して
24	ルームステータス、ルームインジゲーションシステムに関して
25	ルームステータス、ルームインジゲーションシステムに関して（2）
26	学年末試験

授業の進め方	パワーポイントによるスライド資料にて授業を進め、必要に応じてプリントを配布し、テキストに沿って講義を行います。 後期には、複数回演習授業も行い理解を深めます。
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	ホテル概論
参考書	
学生へのメッセージ	この授業を学ぶことで、宿泊部門の組織や業務内容について一通りの知識を身に付けることができます。 また、ハウスキーピング部門の業務を演習形式でも学ぶことで、ホテルの一番の商品を作る事からから楽しく学んでください。

以上